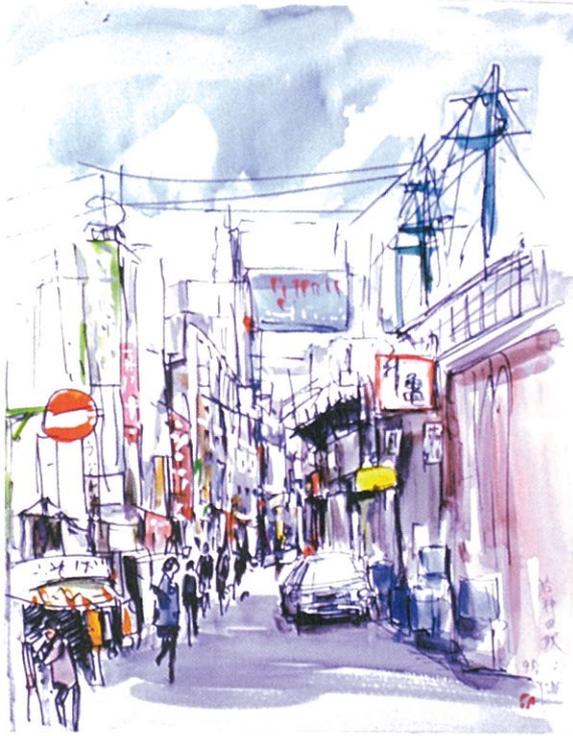


神田公園地域の まちづくり

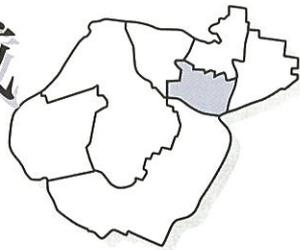


稲川美晴 「神田駅」



日向賢治 「神田司町」

神田公園地域の のまちづくり



下町の雰囲気を活かし、 活力ある新しい文化の感じられるまち

神田公園地域は、親水性を高めた日本橋川の水の軸を活かして、人々の憩う、うるおいのあるまちを目指します。また、スポーツ用品店街や、神田駅周辺の商店街に集まる多様な人々との交流や、出世不動や佐竹稲荷神社などに残っている歴史性をまちの資源として活かし、昔ながらの下町らしさと新しい文化の感じられるまちを目指します。

神田公園地域の特性

地域の移り変わり

神田公園地域は、江戸期には地域の西半分には大名屋敷、武家屋敷等が広がっており、東半分に高密な町屋が広がっていました。

明治期には、錦町・小川町付近は東京大学、学習院、高等商業学校（現一ツ橋大学）等の教育施設が多く立地し、学校の街となりました。また、町屋のあったところは住商混在の活気ある下町型のまちとして発展してきました。

関東大震災によって、地域のほとんどが焼失し、震災後の復興区画整理事業によって、靖国通り・本郷通りなどの幹線道路が整備され、現在のような地域の骨格が形成されました。

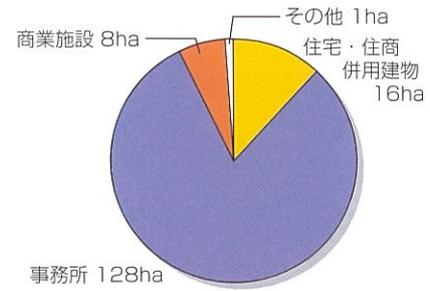
また、戦災により市街地の大部分を焼失しましたが、戦後、地下鉄網が整備されると、交通の利便性が向上し、大手町などの業務機能が集積している地域に隣接していることなどから、区内でも特に業務地化が進みました。

地域の現況

土地利用（土地の使われ方）

神田公園地域は商業地域に指定されています。他地域に比べ、建物の総床面積に対する商業・業務施設の割合が高くなっています。

また、その街区規模は非常に小規模なものが多くなっています。近年、商業施設と住宅が減少してきています。



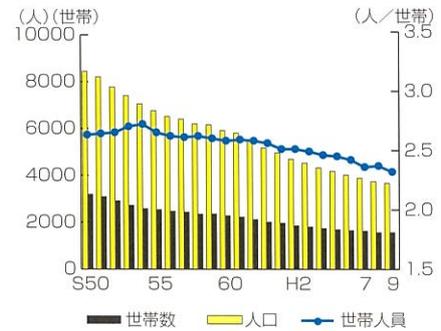
神田公園地域の用途別建物床面積
資料：千代田区土地利用現況調査（平成8年度）

住宅・住環境（住まいなどのようす）

人口減少が著しく、夜間の人口は昼間の人口の約30分の1になっています。また、高齢者の割合は25.3%と区内で最も高く、地域コミュニティの衰退が懸念されています。（平成9年現在）

住宅の広さは区の平均的な水準となっていますが、緑などの住環境のうるおいに欠けています。

さらに、生活利便施設（生活必需品を扱う店など）も減少するなど、住環境や暮らしへの影響が見られます。



神田公園地域の人口・世帯数・世帯当たり人員
資料：住民基本台帳統計資料（各年1月1日現在）

業務・商業環境（オフィスや店舗のようす）

中層の小規模な業務ビルが多く林立し、緑とゆとりに乏しい業務地を形成しています。神田駅西口通り沿いは飲食店を中心に商業施設が立地し、働く人も多く、にぎわいがみられます。靖国通り沿道はスポーツ用品店が多く近隣に大学もあることから、若者でにぎわっています。

錦町の業務ビルは他地区のものとは比べると規模は大きく、公開空地も見られません。

都市施設（道路、公園などのようす）

身近な公園は少なく、オープンスペースは不足しています。幹線系道路は良好に整備されていますが、幅員4m未満の道路も多く、下町らしさの残る路地空間がみられます。

また、都市計画道路については概ね整備されています。



スポーツ用品店街

市街地環境（景観、防災などのようす）

神田駅周辺は、数多くの飲食店が建ち並び、にぎわいのある空間が形成されています。小川町付近の靖国通り沿道は、スポーツ用品を扱う店舗が集積し、看板や広告が建ち並び特徴ある街並みを形成しています。地域全体としては、緑やオープンスペースが不足し、うるおいに乏しい景観となっています。

また、日本橋川が地域の南部を流れていますが、カミソリ護岸や上部を通る首都高速道路のため、うるおいに欠ける景観となっています。

地域のまちづくり資源

神田公園地域において、守り、育て、活かすべきまちづくりの資源は…

下町らしさの残る路地

昔ながらの商店や、軒先の緑、下町的なコミュニティなど、古くから残る神田の下町らしさを醸し出している、職住近接の生活感あふれる路地が数多くみられます。

神田駅西口・靖国通りのにぎわい

神田駅西口は飲食店・商店・中小規模のオフィスが集積していることから働く人でにぎわい、昼休みなどは大手町方面のオフィスからの人の流れも多く見られます。靖国通りはスポーツ用品店が集積しており、近隣に大学もあることから若者でにぎわっています。

出世不動、佐竹稲荷神社などの歴史を感じさせる空間

出世不動、豊川稲荷神社、佐竹稲荷神社など歴史を感じさせる資源が残っており、ビル街の中に貴重な歴史ある空間をつくり出しています。



下町の歴史を感じさせる佐竹稲荷神社



神田駅西口商店街のにぎわい

地域の重要課題

神田公園地域のまちづくりに向けた重要課題は…

まちに集う多様な人々とのコミュニティの形成

人口減少の著しい神田公園地域では、高齢化もすすみ、地域コミュニティが失われつつあります。そこで定住人口を確保し、従来の地縁型のコミュニティを保全することに加えて、働く人やまちを訪れる人など、多様な人々を含めたコミュニティ形成を進めることが重要です。

路地にみられる下町らしさの保全

オフィス化が進み、表通りにはほとんど神田の下町の風情はみられないようになってしまいましたが、路地にはまだ下町らしさが残っています。

路地にみられる下町らしさを今後も残しながら、より安全で快適な市街地を形成することが重要です。

神田公園地域の まちづくり

日本橋川を軸とした緑と憩いの場の確保

神田公園や神田橋公園を除くと、公開空地がいくつか点在している程度で公園・オープンスペースが不足しています。また日本橋川はカミソリ護岸となっているうえ、かつ、高架下にあるため、うるおいに欠けた景観となっています。景観や防災の面から、緑と憩いの場の確保が重要です。



神田小川町三丁目の路地



神田橋公園

広報によるハガキアンケートの声より

- ・ 築年の古い木造住宅や店舗等の密集地は、以前から防災上問題となっているので改築等を指導して欲しい。(神田錦町三丁目在住・60代・男性)
- ・ 千代田区は東京の中心であるから、防災都市としてのイメージをつくり、完成させていかねばならないと思う。(神田小川町三丁目在住・20代・男性)
- ・ 住み続けられるまちとするため、建て替えを支援して欲しい。(内神田二丁目在住・40代・女性)
- ・ 自動車中心の道路から、自転車、歩行者優先のだれもが利用しやすい道路にして欲しい。自動車のための交通網の整備は昼間の就業者には便利だが、生活する人にとっては徒歩や自転車の方が便利である。(神田司町二丁目通勤・40代・男性)

神田公園街づくり協議会での討議より

- ・ 多町大通りは地域のメイン通りであり、活気が必要である。
- ・ 神田錦町、内神田一丁目南部は、大手町から食事に来るサラリーマンの憩いの場となっている。
- ・ 神田西口通りは活気があるが、建物に統一感がない。
- ・ 神田錦町三丁目付近は生活の匂いがあまり感じられないが、公開空地などがあり、景観は良い。

神田小川町一・二・三丁目

中高層の複合市街地として、スポーツ用品店街と連携した商業・業務施設、住宅が調和した、活気とにぎわいのあるまちをつくります。

スポーツ用品店等の集積を活かし、後背地の業務・商業施設との連携を進めることで、一層の活気とにぎわいを創出します。

隣接エリアの御茶ノ水駅も含めた歩行者の回遊ルートを整備、憩いや集いの場の充実などにより、買い物だけでなく、歩くことも楽しめるまちにしていきます。

小川小学校跡地を、コミュニティの核や地域に根ざした文化を学び育てる場としていきます。

本郷通り（一八通りとの交差点以北）は、街並みを整えながら、既存の商店街を活かせるよう、回遊性と滞留性をもたせた快適な歩行空間をつくります。

3

表通りにふさわしい整えられた街並みの形成を進め、自動車交通の抑制や街路樹等により騒音・大気汚染等の沿道環境を改善するとともに、快適な歩行空間をつくります。

靖国通り沿道では、スポーツ用品店の集積を活かし、後背地の商業・業務施設との連携を進めることで、一層の活気とにぎわいを創出するよう、回遊性と滞留性をもたせた快適な歩行空間をつくります。また、緑の骨格として重点的な緑化を進めます。

中央通り沿道では、神田駅周辺のにぎわいを生み出す商業の集積を活かすよう、回遊性と滞留性をもたせた快適な歩行空間をつくります。

外堀通りは、緑の骨格として重点的な緑化を進めます。

6

神田錦町一・二・三丁目

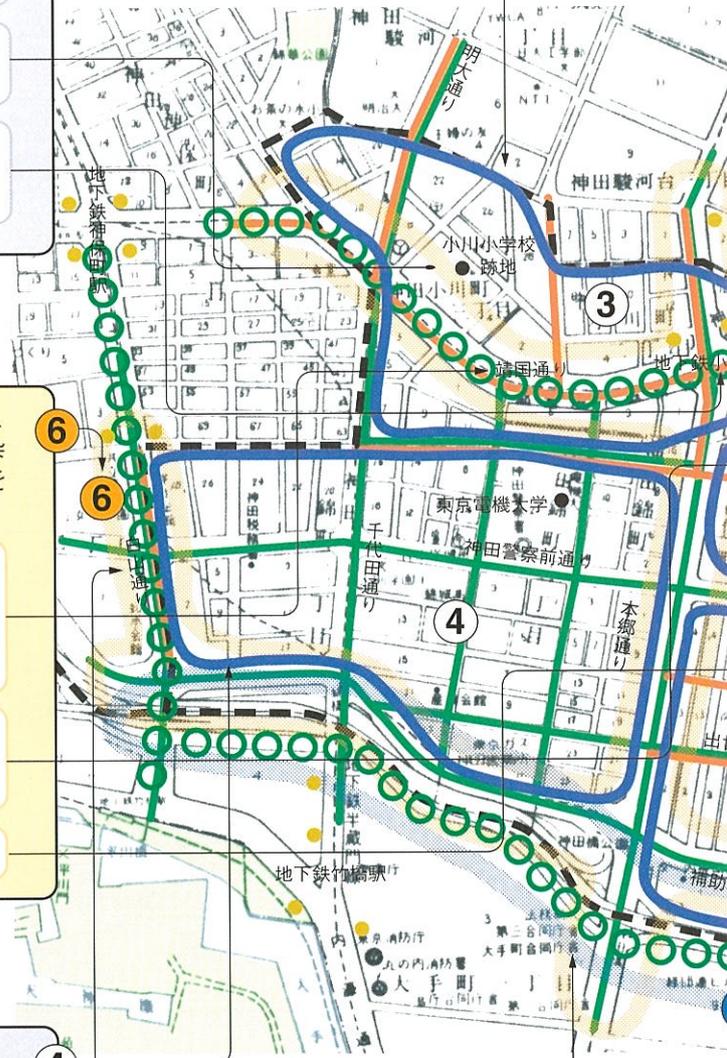
中高層の複合市街地として、中高層に住宅を誘導し、商業・業務施設や教育施設と調和した、落ちつきあるまちをつくります。

白山通りは、沿道の良好な市街地形成を進めながら、再開発等に併せ、都市計画道路の整備を進めます。また、既存の商店街を活かせるよう、回遊性と滞留性をもたせた快適な歩行空間をつくります。さらに、緑の骨格として、沿道も含め重点的な緑化を進めます。

街路樹や公開空地等により、身近な緑が連続する市街地の形成を進めます。

4

5



神田公園地域

整備方針図

神田鍛冶町三丁目、神田多町二丁目、神田司町二丁目、神田美土代町

1

神田公園を中心に、中層・中高層の複合市街地として、住宅と商業・業務施設が調和した、災害に強いまちをつくります。

防災性の向上のため、災害時の安全性に配慮した建て替えや豊かな道路空間の創出を進めます。

神田公園の周辺においては、公園を活かした住環境を形成し、中層の建物を誘導します。

内神田一・二・三丁目

2

中高層の複合市街地として、にぎやかな商業施設や業務施設と住宅が調和した、活気のあるまちをつくります。

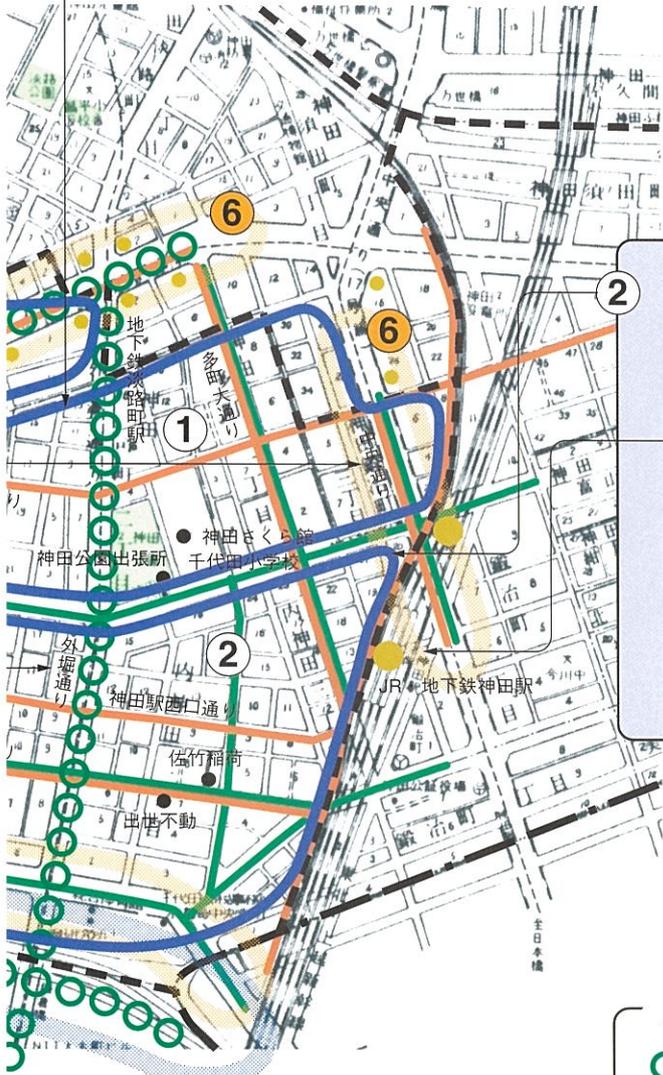
神田駅は、地域の顔にふさわしいシンボル性のある駅舎への改築や、より安全に利用できる駅としての整備・改善を要請していきます。

神田駅西口通り、多町大通り、出せ不動通り沿道では、低層部に生活に必要な店舗や飲食店を誘導し、憩いや集いの広場も備えた活気あるまちづくりを進めます。

佐竹稲荷、出せ不動などのまちなかの魅力資源を守り、活かしながら、中高層部に住宅を誘導し、商業・業務施設と調和したまちづくりを進めます。

凡例

-  特に重点的な緑化を進める、緑の骨格となる通り
-  緑豊かで街並みの美しい、憩いの歩行空間を整備する通り
-  商業施設の賑やかさとコミュニティを育むふれあいの歩行空間を整備する通り
-  表通りゾーン
-  水と緑のうおいゾーン
-  地区境界
-  地域境界
-  区境界
-  JR駅
-  地下鉄出入口
-  公園・緑地
-  河川・濠



川の親水性の向上や川と一体となった街並み、歩行空間づくりを進めます。

沿河の際に護岸の親水化、川沿いの緑化等を進めます。建物の形態を規制・誘導していきます。歩行空間やポケットパークなどの憩いの場の整備を進めます。護岸形態の工夫により、魚や昆虫がまた、自然浄化がなされるよう努めます。高速道路の地下化を要請していきます。